

| 令和５年度 第１回奈良市地域包括支援センター運営協議会の意見の概要                                                                                                                             |                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 開催日時                                                                                                                                                          | 令和５年５月３０日（木）午後３時３０分から午後５時まで             |
| 開催場所                                                                                                                                                          | 奈良市役所 北棟６階 第６０２会議室                      |
| 意見等を求める内容等                                                                                                                                                    | １ 奈良市地域包括支援センター事業評価実施要領の改正について<br>２ その他 |
| 参加者                                                                                                                                                           | 出席者 １１人・事務局 ９人                          |
| 開催形態                                                                                                                                                          | 公開（傍聴人 １人）                              |
| 担当課                                                                                                                                                           | 福祉部福祉政策課                                |
| 議事概要                                                                                                                                                          |                                         |
| <p>○ 議事録署名人について<br/>座長が議事録署名人２名を指名した。</p> <p>○事務局による説明の後、出席者に意見等を求めた。</p> <p>【議題１】 地域包括支援センター事業評価実施要領の改正について<br/>・市から、要領改正の趣旨目的及び事業計画書（事業評価書）の内容を説明した。</p>    |                                         |
| 出席者の意見等                                                                                                                                                       |                                         |
| <p>以前の方法是、地域包括支援センター（以下「包括」という。）の書類作成の負担が大きいように感じていたので、今回、基幹型地域包括支援センター（以下「基幹型」という。）が包括の後方支援や相談に乗って一緒にやってくさるということ、良い方向に向かっているのではないかと思う。</p>                   |                                         |
| <p>包括には、基幹型や行政のほうを向くのではなくて、地域の人をみてほしい。地域の人たちとの仲を深めて、地域に合うレベルで活動し、そこで足りなかったり分からなかったりするとところ基幹型に相談に乗ってもらって、そのプロセスも含めて行政には長期でみてもらえたら、今までよりは少しはラクになるのではないかと思う。</p> |                                         |
| <p>良い方向に改善されていると思うが、「市の方針が分からない」といった包括からの声に対し、この様式ではどう解決できるのかが疑問が残る。包括は、市のオファーを受けて実戦部隊になるので、市（オファー）と包括（実働）のつなぎの部分がこの流れのなかでは少し足りないような気がする。</p>                 |                                         |
| <p>普段、多職種連携に関わっていることから包括の声を聴く機会が多いが、今年度は目標設定が具体的ではなく自主性に任せるようになるため、どうしたらいいのかと混乱されているようだ。さきほど言われたように、よその包括をみていると、市の直営であつたり、基幹型が直営</p>                          |                                         |

|                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>だと背中を見せるようなものがあるのが一般的だが、奈良市はそうでないので混乱を招いているのかもしれない。もう一つは、長期目標3年間というのは非常に有意義だとは思いますが、契約は単年度であり、この点が整合性がとれないのではと感じる。</p>                                                                                            |
| <p>市が評価するとあるが、行政に評価する力があるのか、市の職員は事務職であって専門職ではないから、市が評価できるのか疑問であり、協議会の委員に評価してもらう仕組みを作らないといけない。公務労働の質が変わってきて、専門性が高まっているなかで、資格を持っている人や経験を積んだ人、それに社協の人に包括をやってもらっている。一番大事なことは、市民のために包括に頑張ってもらうこと。行政はそれをバックアップすることである。</p> |
| <p>社協としても評価は荷が重いので、今回、市が行政と社協の役割分担をしっかりとやってありがたい。社協でも人事考課をやっているが、目標の設定の仕方、評価の仕方など5年ほどかけてようやく目線合わせができたというところがあるので、今回も長い目でみて評価の指標などを行政と基幹型と協議会委員のみなさんで一緒に考えていけたらと思う。</p>                                               |
| <p>包括と基幹型とのやりとりが大事になってくる。包括の意見や不満に向き合うことが必要だし、基幹型を板挟みにしてはいけないと思うが、市とどう協力して実施するか考えていく必要がある。</p>                                                                                                                       |
| <p>行政や基幹型が最前線の方々を後押しして最前線の人たちが活動しやすい環境を作ることが一番大事である。たとえば、高齢者の問題は高齢者単体の問題ではなくて必ず家族とセットになっている。だから本人支援も必要だが家族の支援もしないといけない。これは事業所も施設もみな同じ状況だから連携がいる。一番最初に対応するとっかかりは包括だから、守ってあげないといけないと思う。</p>                            |
| <p>目標を持つことは当たり前のことにしてもらいたい。今年度の目標と成果の縦軸は包括が自由に設定されるとのことだが、基幹型にはその柱の例示をしてほしい。地域の理解、介護問題の理解、利用者、家族の理解があって目標を決めていく。評価は各包括の自己評価、基幹型の評価と協議会の評価になるような仕組みにしてほしい。市の評価という漠然としたものではなくて、専門職の参加の場面での評価が大事である。</p>                |
| <p>私の住んでいる地区では、包括と民生委員あるいは地域の人々のつながりという点では、地区社協の定例会に包括の方にも必ず来てもらっている。それで地域の実態も知ってもらっているし、これからこうしていきたいというアナウンスが包括からされる。包括としてのメッセージは毎月、新聞のような形で出されているので、それを民生委員が気になる人に周知するようにしている。</p>                                 |
| <p>私の地域では、今までは民生委員さんと自治連合会等の話し合いがなかったが、今年の初めくらいから地区社協、市社協、民生委員、自治連合会と包括の5者が集まって、毎月1回会議を行っている。地域のいろいろな問題点などを取り上げて、それを全体に広げていくという形の活動をしている。団体の垣根をこえた活動が地域で一番大事だと思うので、そのため毎月のこの会議は意義のあることだと思っている。</p>                   |
| <p>市の地域づくり推進課にもこういう地域の取組を知ってもらって支援してもらえたらいいと思う。</p>                                                                                                                                                                  |
| <p>地域の連携が一番大事だと思う。私たちも相談を受けたときに、緊急性を感じたら包括に連絡するが、包括のほうでも把握されているとわかると安心する。地域でいろんな機関が繋がっ</p>                                                                                                                           |

て情報交換し合えたらよいと思う。自分のところで処理できなくても、どこかにつないでみんなでゆるやかに見守りが出来たらと思う。

この目標設定シートの様式は難しいのではないと思う。なにが目的で、どう取り組むかがはっきりすることが大事だから、分析力を高めていかないといけない。やってみたら面白いと思う。点数は結果として考えたらいい。

点数が出るとそのプロセスにどんなことがあったとしても、やはり点数をみてしまう。よくできました、とか、頑張りましょうといったやんわりしたものでは行政的にはダメなのか。数値で出さないといけないのか。

中身として、市民サービスがどう向上するかをもっと考えていくようにした方がいい。ここで包括の名前を出してボトムアップしていくことがこの協議会の目標で、基幹型にはしっかり動いてもらいたい。